

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

私立保育所助成事業

【 保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所助成事業

- ・市内外の私立保育所の運営費に対する民間保育所運営費補助金を交付した。
- ・開所時間11時間及び延長保育を実施するために要する経費に対し延長保育事業等補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所運営改善費補助金を交付した。
- ・一時保育事業に必要な経費に対する一時保育事業補助金を交付した。
- ・緊急通報器機を設置する経費に対する緊急通報器機整備費補助金を交付した。
- ・休日保育事業に必要な経費に対する休日保育事業補助金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園運営補助)(4-1-4-⑰)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
367,591	368,086	349,042		19,044
主な支出内訳				
・私立保育所助成事業				
民間保育所運営費補助金				138,107
障害児保育事業費補助金				0
延長保育事業等補助金				67,588
民間保育所運営改善費補助金				137,760
一時保育事業費補助金				5,157
児童福祉施設等緊急通報機器整備費補助金				94
休日保育事業補助金				336
主な特定財源				
・国県支出金				
				111,452

保育所 区分	富士	アンナ	岩瀬	オラン ジェ	清心	こばと	大船ひ まわり	たんぼ ぼ	山崎	アワー キッズ	市外	計
民間保育所運営費補助金												
(特別経常費)	2,850		780			1,489		1,800				6,919
(基本分)	4,280	4,280	4,280	4,280		4,280	4,280	4,280	4,280	4,280		38,520
(利用者別基礎加算)	8,071	11,494	11,564	5,830		5,160	5,786	6,834	7,758	10,631	1,197	74,325
(開所時間加算)	1,090	1,403	1,409	712		684	546	655	945	744	139	8,327
(障害児加算)			3,566	2,140		1,427	713	713				8,559
(地域育児センター 加算)	150		300				67	300	282	300		1,399
(級地格差是正加算)											58	58
(緊急通報機器整備 費加算)					94							94
小計	16,441	17,177	21,899	12,962	94	13,040	11,392	14,582	13,265	15,955	1,394	138,201
障害児保育事業費補助金												
(障害児推進費特別 対策事業費)												0
小計												0
延長保育事業等補助金												
(開所時間延長促進 事業費)	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519		45,190
(延長保育事業費)	2,379	2,361	2,530	2,416	2,172	2,316	2,000	2,001	2,223	2,000		22,398
小計	6,898	6,880	7,049	6,935	6,691	6,835	6,519	6,520	6,742	6,519		67,588
民間保育所運営改善費補助金												
(職員加算)	3,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	1,000	4,720	4,720	4,720		42,480
(経営改善費)	7,613	7,250	10,493	3,605	6,544	6,165	6,624	7,034	7,467	6,917		69,712
(処遇改善費)	2,696	3,234	3,401	1,041	1,611	1,541	1,277	1,640	2,267	1,813		20,521
(健康管理費)	208	208	208	208	139	208	69	208	208			1,664
(災害共済負担費)	45	55	46	22	33	22	25	27	36	23		334
(分園運営支援費)			3,049									3,049
小計	14,282	15,467	21,917	9,596	13,047	12,656	8,995	13,629	14,698	13,473		137,760
一時保育事業費補助金												
(一時保育事業費)	708	155	459	552	259			1,714	938	372		5,157
小計	708	155	459	552	259			1,714	938	372		5,157
認定こども園設置促 進事業費補助金									336			336
合計	38,329	39,679	51,324	30,045	20,091	32,531	26,906	36,445	35,979	36,319	1,394	349,042

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て-10 私立保育所助成事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス	69	私立保育所助成事業				
	コード及び 個別事業 名	790	私立保育所助成事業				
主管課	保育課		関連課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行なう 待機児童0人						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日 ・対象者数=各年3月1日 現在 私立入所児童数		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	866人	724人	678人				
運営資源 状 況	決算値	349,042千円	292,257千円	275,967千円			
	(国・県)	78,088千円	70,424千円	83,035千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	270,954千円	221,833千円	192,932千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人			
	人件費	9,071千円	9,237千円	9,178千円			
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	358,113千円	301,494千円	285,145千円			
	市民1人当 りの経費	2,029円	1,714円	1,629円			
	対象者1人 当りの経費	413,525円	416,428円	420,568円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)
待機児童数(各年度3月 1日現在・私立保育園分)	○	目標値	20	10	10	5	0
		実績値	76	30			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 待機児童解消を目指しているが、むしろ増加傾向にある。更なる工夫、取り組みが必要。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 待機児童対策として定員を超えた弾力的な運用による入所児童の受入れ。 保育所最低基準を遵守しつつ、保育士の弾力的配置等により、私立保育所定員合計760人のところ、平成20年度3月時点では866人の入所があった。 また、本事業により民間保育所の経営安定化、健全化を図ることができた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 待機児童の解消
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 民間保育所に対して運営費の補助を行うことで、経営の安定化、健全化を図ることができているが、補助制度の継続的な見直しを図り、効率的な運営支援による保育事業の推進を図る必要がある。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	事業費の増は、山崎保育園の民営化や認定こども園の開園など主に受入れ児童数の増加に伴うものでやむを得ないものと判断しているが、補助制度の継続的な見直しを行うことにより、より効率的な支援を目指す必要がある。		
担当課長氏名:	保育課長 奈須 菊夫		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	現行制度上は入所児童数の増加に連動して補助金額が増加するため、目標とする待機児童解消を目指し努力することが、他方においては費用面での負担増につながってしまう。今後は補助制度の内容の精査、適正化を進め、効率的な子育て支援施策の充実を図りたい。		
担当部名	こどもみらい部	部長名	岡部 富夫